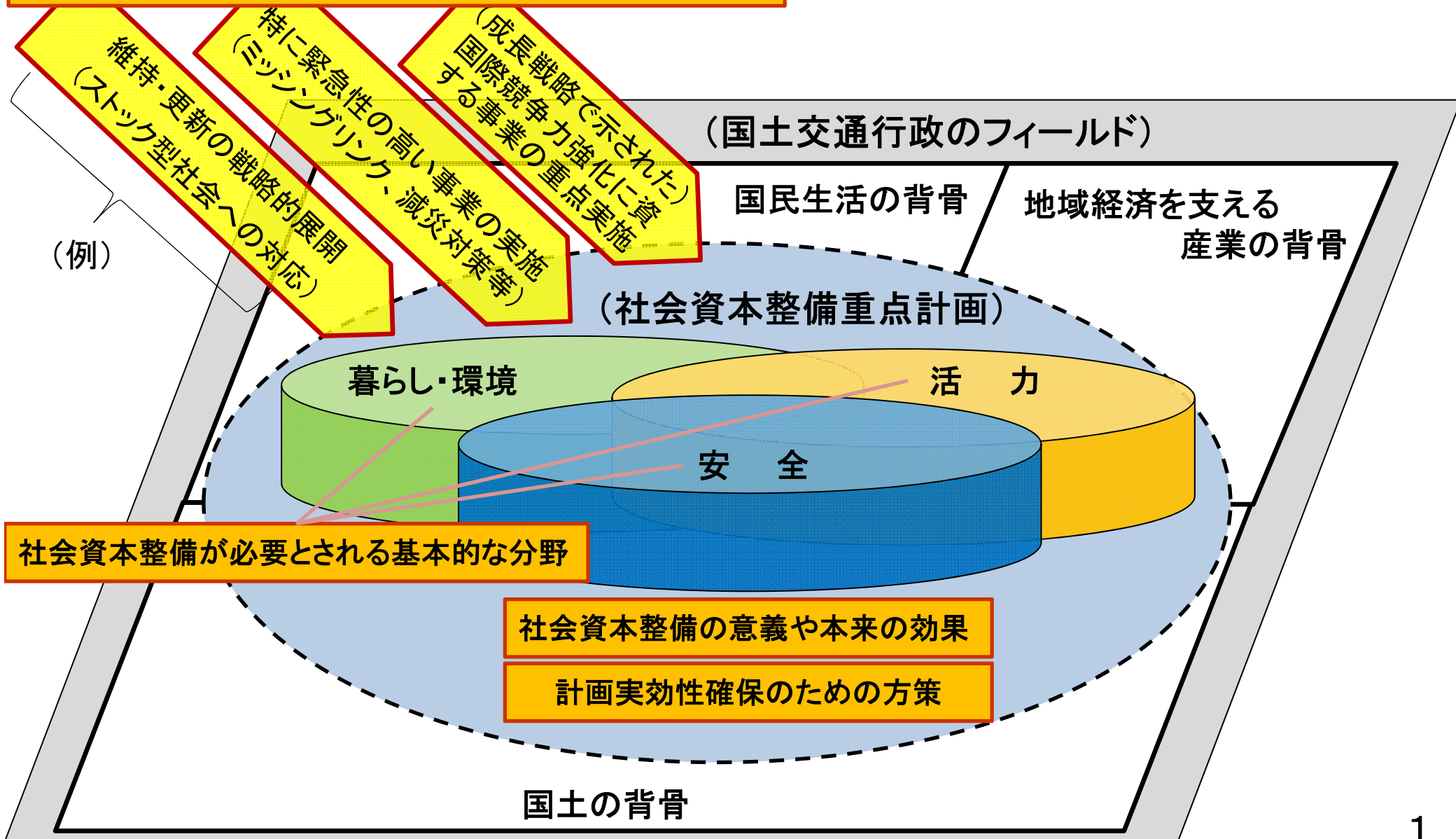


社会資本整備重点計画見直しの 方向性について

社会資本整備重点計画見直しの方向性のイメージ(たたき台)

今日的な視点に基づき重点的・戦略的に取り組むべき課題



今後の論点について(案)

- 重点計画における事業の位置付けについて、現計画では、「重点目標」に即し、縦割りの的に整理されている。
あらためて、現在行っている事業を棚卸し・整理し、「社会資本整備が必要とされる基本的な分野」と「今日的な視点に基づき重点的・戦略的に取り組むべき課題」に応じて、どのような社会資本整備が必要か、ソフト・ハードの連携も含め、今後5年間に実施すべき社会資本整備の方向性を明確に示す。
- 社会資本整備における国の役割を明確にする。
(例) ・国土全体を見据えた計画的、戦略的な整備・維持管理
・セーフティネット整備の推進
・先進的取組の支援
- あわせて、社会資本整備重点計画の方向性を国と地方公共団体が共有し、役割を分担して整合性を図って事業を進めていく。
- 従来のアウトカム目標にとらわれず、「今後5年間に何をやるのか」という目標を明確に示し、予算・人材育成・技術開発・PPPなど政策運営全体を通じて計画の実効性を確保する。